



薫風の5月スタート！大切に Priceless の行事へ

校庭にさわやかな風が吹き渡り、まぶしい新緑の輝きと若葉の香りが、元気な生きる力を与えてくれています。四季のある日本では、植物も動物も同じリズム・同じ“体内時計”で生きています。

この好季節に、1年生は鉢伏高原へ野外活動（5/12～14）、2年生はトライ・やるウィーク（6/3～7）の事前準備、3年生は鹿児島へ修学旅行（5/23～25）にチャレンジしていきます。

行事のしおりにある行程に“遅れずについていく”という消極的な発想から、それぞれの行事にあるエピソードを「自分はどのように考え、その時を迎え、どのように学び取るのか」という積極的な参加型の発想を大切にしてほしいと思います。

学校行事は **Priceless (プライスレス)！** お金では買えることのできない、高価で貴重な値打ちがあります。クラスの友だちとこの価値観を共有し、青春の忘れがたい時間を過ごしてください。

声に出して言ってみる

人間の脳は、自分が考えていることや言っている言葉を受けとめ、その通りにしようとします。毎日、ネガティブなことばかり考え、ダメな言葉を言っていたらネガティブ思考どおりに行動するようになります。

日ごろから、「できる」「よくなる」という明るい希望の言葉を声に出してみましょう。

5月は楽しい行事が待っています。あなた自身の考え方や見方で世界が変わります。

「私はできる！」「友だちはとてもいい！」



校歌二番の言葉で
悟りの木「菩提樹」

大樹「くすのき」

加古川市の花「つつじ」

知覧飛行場と加古川飛行場、中村家旅館 ～見方で意識がかわる関係性～

修学旅行の行先、鹿児島。大きな目的は「知覧特攻平和館」で**戦争と平和を学ぶ**ことです。

加古川市尾上町にはかつて加古川飛行場がありました（「あかねの湯」や「ホームセンターナフコ」あたり）、ここで、若い隊員が訓練を受けたあと知覧へ移動。知覧飛行場で特攻隊を編成し、沖縄戦に片道の燃料だけを積んで飛び立ち、散っていきました。加古川町寺家町には「中村家旅館」という陸軍指定の旅館がありました。隊員が中継基地として加古川飛行場に滞在する数日間を中村家旅館で宿泊。家族との最後の面会や、青春と言うには悲しすぎる仲間との束の間の時間を過ごしたのです。加古川にいる私たちと知覧の関係性を知るだけで大きく意識が変わります。

知覧特攻平和館で、10代、20代の若者が出撃する前日に書いた手紙を読むことでしよう。あなた自身の書いた手紙と思って読んでみてください。最期を迎える隊員の、お父さんやお母さんと思って読んでみてください。どのように感じるでしょうか・・・。



攻守に全力プレー 激戦勝ち抜く。野球部“感激”涙の準優勝

4月27～29日に行われた「自治労カップ全日本少年軟式野球大会兵庫県予選会」で見事に勝ち抜き、決勝進出、惜敗。準優勝だけに与えられる近畿大会「近畿少年軟式野球大会」（大阪府）に選ばれました。

写真は負けた悔しさの涙。頂点をめざす部員の高い意識が、さらに強いチームへと成長していくのでしょうか。**準優勝、おめでとう！**



1回戦	豊岡北（丹波）	3-0
2回戦	小野（小野）	2-1
準々決勝	宝殿（高砂）	3-2
準決勝	津名（淡路）	1-0
決勝	松崎（阪神）	2-8

白熱したゲームの連続。あきらめない勝利への強い気持ちがあったからこそ、準優勝を勝ち取ることができました。チーム一丸となって、苦しい状況乗り越えた部員を誇らしく思います。優勝を目指して頑張っていきます。

監督：柿坪達郎